

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

職名廃止・業務融合化反対！

鉄道の歴史開始
以来の大転換

雇用・安全破壊に声を上げよう



2019年3月のストライキ

今年も「外注化阻止ニュース」を発行いたします。よろしくお願いいたします。

*

JRの20年に及ぶ鉄道業務の外注化は大きな破綻に直面しています。グループ会社への外注化によって労働者を劣悪な賃金・労働条件に突き落とした結果、全系統で鉄道を動かすのに必要な要員が確保できなくなっています。特にJR北海道は「人材流出に歯止めがきかない」が国土交通大臣や会社、マスコミも公然と語る事実となっています。

職名廃止・融合化の重大性

こうした危機に突き動かされて、JR東日本

は、現業の職名をすべて廃止し、労働者を際限のない競争と「業務融合化」に駆り立てる前代未聞の施策を開始しています。

鉄道は、運転士は運転士、車掌は車掌、駅は駅、施設や電力や信号通信などの専門的な技術や経験があつて成り立つものです。職名を廃止して「なんでもやらせる」となれば鉄道の安全は根本から崩壊します。

鉄道の運行と安全を支えてきた各系統のエキスパートがあたかも価値がないかのように扱われ、最終的には、すべてを外注化と転籍に突き落とそうとしています。グループ会社では徹底的なコストカット（安全軽視、賃金や労働条件の破壊）が強いられます。

会社に対抗できる労働組合を

「今日は運転、明日は駅、その次は企画」という働き方を続けたら労働者はボロボロになり、重大な事故にもつながります。この間のワンマン化（車掌廃止）で事故も増えています。動労千葉は、「反合理化・運転保安確立」「闘いなくして安全なし」を労働組合の基本精神として外注化と闘ってきました。声を上げれば状況は変えられます。会社に対抗できる労働組合が必要です。動労千葉に加入し、共に闘おう。